



SAIE かわら版

国籍を超え、相互理解を深め、「つながり・きずな」を大切に

SAIE主催
イベント

参加者募集！

JICA講演会

フィジーでの協力隊活動と生活の紹介



日程：3月18日(火) 午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

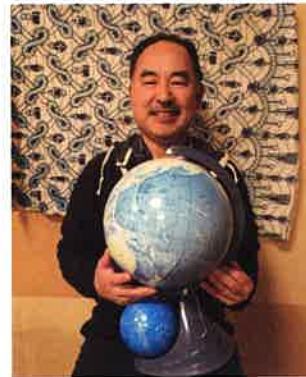
定員：25名

参加費：無料

申込：協会まで電話・メールで受付

講師：佐藤 幸雄さん

(公益社団法人 青年海外協力協会 JOCA 大阪)



フィジーは、「世界一幸せな国」に何度も輝いている南太平洋の楽園と言われる国で、食料に困らない温暖な気候、そしてお金や時間、家族までも共有するというケレケレという文化があります。フィジー人の優しく、社会的でフレンドリーな性格にも繋がるのですが、困っている人がいれば躊躇なく自然と手を差し伸べてあげられる人々です。しかしながら、近年は植民地時代に由来するインド人住民との関係や食生活に起因する肥満などの問題、サイクロン(台風)被害や地球温暖化に関する自然環境など、様々な問題を抱えると同時に、太平洋の中心地であるため、外部要因による政治的不安な状況が続いていました。講座では、そんなフィジーの歴史、人々の魅力、フィジーらしさをご紹介します。



講師からのメッセージ

フィジーは約300の島で構成され、その面積は四国とほぼ同じ大きさで、人口は約93万です。これは、大洋州16か国の中、特に島しょ国としては大国になります。国民の意識も大国ですよ。首都スバの人口は9万人。これも、島国の中では凄く大きな都市(町ではない)と認識されています。一部の方には懐かしいかもしれない、若大将の歌も準備しています。観光地としてだけではない、協力隊員が現地の方と暮らし、悩み、苦しみ、そして笑った、笑いあったフィジーの普通の人たちの魅力を皆さんに知って頂けると嬉しいです。



SAIE主催
イベント

予告！

2025年度「社会見学」開催のお知らせ

昨年5年ぶりに再開され、沢山の方にご参加いただいた社会見学ですが、今年の開催予定が決まりましたのでお知らせします。超人気の「グリコピア」工場見学や日本六古窯のひとつである丹波立杭焼「陶の郷」での絵付け体験、鳳鳴酒造ほろ酔い城下蔵など、盛り沢山の内容をご用意いたしました。是非、ご参加ください！

※ 詳細は次号の「SAIE かわら版」でお知らせします。

日程：5月28日(水)

行き先：グリコピア工場見学と
立杭焼絵付け体験など

参加費：協会会員 4,000円
一般 8,000円

イベント報告

国際理解講座2024

フィリピンの文化紹介

～今注目が高まる国・フィリピン～



日程：10月15日(火) 午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室3・4

講師：矢野 アナリンさん

(マニラ出身)

参加者：26名

フィリピンって
どんな国？

参加者の感想

- フィリピンの方と出会っても知り得ない情報(ロマンチックな愛の告白など)が知れて、楽しかったです!
- フィリピンの文化や生活等で新たなことが発見でき、又、日本との違いも聞け、勉強できた。
- 講師が明るくて、お話も上手で楽しかった。
- フィリピンには行ったことがなく、とても興味があったので、知れて良かったです。おやつやゲーム、衣装も体験でき、とても楽しかったです。
- ハラナ、リパット・バハイ*など、古い伝統的な習慣に非常に興味を感じた。

*ハラナ=男性が女性に愛を歌で伝える告白方法。
リパット・バハイ=竹でできた家を持ち上げて家ごと行う引っ越し。

JICA講演会

「救世主国」エルサルバドルでの生活と協力隊活動紹介



日程：10月29日(火) 午後1時半～3時

場所：コミュニティプラザ会議室1・2

講師：森田 英津子さん

(公益社団法人青年海外協力協会 JOCA大阪)

参加者：25名

参加者の感想

- 子供たちに与えられる教育が一番だと思います。日本も貧困の問題があるので、対岸の火事ではないと思いました。
- 「書」が受けるというのが印象的だった。何処に行っても通用しそう。
- まったく知らないエルサルバドルの国のこと、コーヒーや牛肉の特産品など、今度見かけたら購入してみたいと思いました。国の貧困から起こる犯罪については、今の日本での犯罪増加の原因も考えさせられました。
- ウルグアイではストリートチルドレンを見なかったと聞いた後のエルサルバドルのマラスの話など。教育を受けられない人たち、胸を打たれました。
- 私自身はもう年なので何もできないけど、日本の(恵まれている)若者はもっと外国へ行って見分を拡げて、人々の役に立つことをしてほしいと思います。



- 首都：マニラ
- 面積：300,000平方キロメートル
- 公用語：タガログ語、英語(全部で170言語もある)
- 人口：1億1,000万人
- 在住邦人数：17,000人程度(2020年)
- 国民の93%がキリスト教、5%がイスラム教
- ジブニー(乗り合いタクシー)運賃：25～50円。
- 現在7,641の島がある(大きい島⇒北部：ルソン島、中部：ピサヤ島、南部：ミンダナオ島)。火山が多く、島の総数は数える度に増えている。
- 「Build, Build, Build」政策で道路や橋・地下鉄・モール等が建設され、経済成長がみられる。
- 日系企業の進出：ユニクロ、ダイソー、丸亀製麺など。
- 地元を代表するファーストフード店：ジョリビー
- 伝統料理：レチョン(豚やクロコダイルの丸焼き)
- 伝統服：アバカ(バナナ科の植物)からとれるマニラ麻



エルサルバドルって
どんな国？

- 首都：サンサルバドル
- 面積：21,040平方キロメートル(九州の約半分)
- 言語：スペイン語
- 人口：634万人
- 在留邦人数：142名(2019年：永住者含む)
- 法令通貨：米ドル・ビットコイン
- 世界遺産ホヤ・デ・セレン遺跡(マヤ文明)がある。
- 25を超える火山があり、温泉もある。
- 羽が透明な「トランスパレンテ」という蝶や、尾の長い「トロゴス(国鳥)」がいる。
- 国民食：Pupusa(ププサ)⇒原料はトウモロコシ粉。ププサ祭りの時には直径3mくらいの巨大ププサが作られる。コーヒーの原産国で有名。
- 歴史的な経緯から犯罪・暴力・殺人が多発。政府の強硬な政策により近年治安は改善してきているが、強大なギャング集団マラスに入る者にも生活のためなど様々な事情がある。



日程：1月21日(火) 午前10時～11時半

場所：コミュニティプラザ会議室3・4

講師：前田崇之さん(宝泉菓子舗)

参加者：19名(うち外国人学習者7名、タイ、ミャンマー、マレーシア、インドネシア、中国、ベトナム)



今回の日本文化の体験は「食」和菓子でした。1つ目は三角棒を使って花びらを型取り、季節の花(梅)を作りました。2つ目はパンダ、3つ目は先生が披露してくださった見本(菊やさくら、キャラクターなど)の中から好きなものを選んで自由に作りました。

学習者の感想

- おもしろいし、たのしかったです。チャンスがあれば、またやってみたいです。
- ていねいに教えてもらって、ありがとうございます。楽しかったです。見る時、おずかしくないかなと思ったけど、ほんとうにおずかしかったです。
- 一次非常有趣的体验!とてもよい体験でした。

ボランティアの感想

- 全く初めての経験でした。簡単そうで難しく、難しそうで易しそう。帰って、家族に見せたいと思います。さて、どんな反応か!?先生の教え方が上手で面白かった。
- 和菓子は大好きでよく購入していますが、初めて作りました。



Column

平和と戦争のあいだ

佐藤 未奈 SAIEかわら版編集者(特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター)

昨年9月23日から10日間、私が勤務するNGOの活動を視察するため、イスラエル・パレスチナを訪れました。

最初に訪れたエルサレムは、戦争をしているとは思えないほど、一見「安全」に見える街でした。観光客がほとんどおらず、現地の人々が穏やかに暮らしている様子が印象的でした。しかし、兵士や銃を持つ市民を見かけるたび、平和と戦争が隣り合わせて共存する独特の緊張感が漂います。

街には、監視カメラ付きの鉄柵で囲まれた家々が点在しており、ユダヤ人の住む「入植地」が広がっていました。イスラエルによる強制的な立ち退きや家屋の取り壊し命令により、パレスチナの人々は住む場所を失うリスクと隣り合わせに生きています。

次に訪れたのは、ヨルダン川西岸地区にあるベツレヘム。パスポートを見せ、すんなり検問所を通ると、簡単には登れない高さの分厚い壁に一面の壁画。てっぺんには鉄線が張り巡らされています。壁の途中には監視所があり、銃弾の跡が残る所も。最近、壁にビー玉を投げた子どもが兵士に撃たれたそうで、道にはまだ血痕が残っていました。

アイダ難民キャンプで出会った一人の男性。最近、刑務所から出たばかりで、9カ月間イスラエルに拘束されていたそうです。なぜ捕まったのかは未だに分らないと話していました。「故郷に帰る」という希望のシンボルとして建てられた鍵の形の門が、この地に住む人々の願いを物語っています。

順調に視察を終え、帰国まであと2日となった夜。スマホアプリのアラームが鳴り始めました。なんとイランから200発ものミサイルが飛んできたのです。

まさかここには落ちないだろう...と思いつつも、アプリではミサイルの予測着地点がリアルタイムで分かるようになっており、事務所も射程範囲内に。外ではサイレンが鳴り続け、ミサイルを迎撃する爆発音が鳴り響いていました。

突然ピタッと静かになり、恐る恐る外に出ると、何事もなかったかのように生活が淡々と続いていました。戦争中だからといって、生活を止める訳にはいかない。戦争の犠牲になるのは、私たちと同じ普通の人々なのです。

見かけ上の安定や発展度を保ちながら、じわじわと命や尊厳や土地を奪われていくという現実。彼らが求めているのは単なる支援ではありません。占領の終結と、平等な権利を得ることなのです。

話したい言葉を話し、したいことをして行きたい所に行ける。世界には、自由が当たり前ではない人びとがたくさんいます。政府や社会に対して自由に声をあげられることは、壁の遠く向こう側にいる私たちの特権なのです。

いまの私にできることは、まず事実を知り、関心を持ち続け、発信を続けること。そして「自分にも何かできるかも」と希望を皆がもてるような社会にしたい。私たち一人一人がそう思えるようになれば、未来は確実に変えていけると信じています。



動画も含めた現地レポートはウェブで公開しています。ぜひご覧ください!▷



新市長のメッセージ 摂津市長 嶋野 浩一朗



この度、摂津市長に就任いたしました嶋野浩一朗でございます。皆様方の期待と責任の重さを心に刻み、「次なる摂津」の構築に向けて全身全霊で取り組んでまいり所存でございます。どうか引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、広く国内外に目を向けますと、いよいよ大阪・関西万博が開催されます。大阪が世界から大注目を浴び、これを機に一層グローバル化が加速し、本市にも就労や語学留学そして専門スキルの習得など、様々な目的で外国籍の方々が訪れることとなります。

この流れを受け、市民の皆さんも外国の文化に直接触れる機会が多くなりますが、貴協会は語学教室や異文化交流会など、日々の暮らしに役立つ国際事業を既に多々展開されており、急速なグローバル化にも柔軟に対応できるノウハウを蓄積されています。これは行政を司る私としまして大変頼もしく、非常にありがたい限りでございます。

また、私は市長就任以来一貫して「市民一人ひとりの持続可能な幸福を目指すこと」すなわち「ウェルビーイング」が何よりも大切だと訴え続けてまいりました。すなわち、「一人ひとりが幸福を感じると地域の活力が増し、市全体の魅力やポテンシャルが向上する」この流れを生み出せば、「市民の幸福は誇りへと進化し、人々に選ばれる持続可能なまちであり続けることができる」と私は確信しています。

そのような中、貴協会のご活動は、まさに「ウェルビーイング」のまちづくりに大きくご貢献いただくものであり、潤いと温かみのある地域づくりの一翼を担うものでございます。今後、グローバル化がますます進展してまいりますが、是非とも草の根レベルの国際交流にお力をお貸しいただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



飛行機の中のイスラム ペンネーム：MS



今回は、私がアラブ首長国連邦・ドバイにある航空会社で客室乗務員として働いていた時に遭遇した小さな「へえ」をシェアします！

皆さんは、イスラム教の人々が1日5回、メッカに向かってお祈りをすることはご存知ですか？飛行機に乗っている間も例外ではありません。ただ、飛行機はいろんな方向に向かって移動しています。では、メッカの方向はどうやって分かるのでしょうか？

答えは「パイロットに聞く」です！客室乗務員は機内電話で機長に連絡し、メッカの方向を教えてください。その時に使われるのが「時計の針」。飛行機の先端を12時の方向と定め、何時の位置にメッカがあるのかを教えてください。

また、イスラム教徒は一生に一度、メッカに巡礼する「ハッジ」を行うことが義務づけられています。ドバイからサウジアラビアへのフライトには、たくさんの巡礼者が搭乗します。着陸する前に体を水で清

め、2枚の白い布に着替えます。着替えた後は誰にも触られてはいけない、という決まりがあり、客室乗務員がうっかり触ってしまうと、もう一度体を清め直さなければなりません。（飛行機が揺れている時は特に気をつけないとけません...）

また、巡礼者が必ず持っているのが水筒などのマイボトル。これは機内でお茶を飲むためではありません。ではなぜマイボトルを持っているのでしょうか？

これは、メッカに湧き出る「ザムザム」という聖なる水を持ち帰るため。エミレーツ航空では、ザムザムの水は5リットルまで機内持込可能。飛行機の中のイスラムは、普段とは違った景色が見れるのです。



摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘 5-35

摂津市立コミュニティプラザ 2F

TEL: 06-6319-6251 FAX: 06-6318-6004

Email: office@settsu-saie.org

URL: <https://settsu-saie.org>

開室時刻: 平日 9:30~12:00、13:00~16:30

(休館: 第4水曜日)

会員募集

●年会費: 個人: 3,000円 / 家族: 5,000円

青少年: 1,000円 / 法人・団体: 10,000円 (1口)

●当協会の事業に無料または割引での参加特典がございます。

●「かわら版」のお届けと催事参加申込みなども優先的に受け付けます。

協会 HP

